

協会けんぽ愛知支部の運営方針（平成30年度）

基本使命

保険者として、健康保険及び船員保険事業を行い、加入者の皆様の健康増進を図るとともに、良質かつ効率的な医療が享受できるようにし、もって加入者及び事業主の利益の実現を図る。

上記の基本使命を確実に実施するため、3つの機能に分類して目指すべき方向性を定める

基盤的保険者機能

- 現金給付やレセプト点検等の業務の標準化・効率化を徹底し、迅速かつ適切に業務を行うことにより加入者に良質なサービスを提供する。
- 日々の業務量の多寡や優先度に応じて柔軟な業務処理体制を構築することにより、業務の生産性の向上を目指す。

① 現金給付の適正化の推進

不正疑い案件に対する事実関係調査の徹底、二重給付の防止、患者や施術者への照会を通じた過剰診療の抑制
 （調査対象リストに基づく調査の徹底、柔整療養費における多部位・頻回施術者への必要性の照会）

② 効率的なレセプト点検の推進

コンピュータによる自動点検を柱とした効果的・効率的な点検の実施
 （自動点検マスタ、抽出条件テンプレートの拡充）

③ 返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進

保険証未返納者への早期返納催告、保険者間調整・法的対応の有効活用
 （資格喪失処理後2週間以内の返納催告）

戦略的保険者機能

- 事業主、自治体、経済団体と連携して加入者の健康の維持・増進を図る。
- 地域の医療提供体制の在り方にも積極的に関与し、効率的かつ無駄のないサービスが提供されるよう働きかけを行う。

① データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施

「健診・保健指導実施率の向上」「事業所や自治体等とのコラボヘルスの拡大」「重症化予防対策」の3本柱での取り組み
 （健康宣言事業の拡充、新規透析患者の縮減対策）

② インセンティブ制度の運用

健診受診率、保健指導実施率、ジェネリック医薬品の使用割合等の向上に向けた重点取り組み
 （加入者・事業主への広報の徹底、医療関係者等の関係機関との協力関係の構築）

③ 医療データの分析に基づく地域の医療提供体制への働きかけ

地域ごとの実態や偏りを踏まえ、エビデンスに基づく効果的な意見発信（見える化ツール等を活用した調査分析）

組織体制の強化

- 日々の業務を通じて「現場で育てる」という組織風土を醸成する。
- 個々の職員に「自ら育つ」という成長意欲を持たせる。
- そのためにOJTを中心として研修を効果的に組み合わせた人材育成を行う。

支部の基本戦略

「県内トップの保険運営」「加入者・事業主への高いサービス」をめざす！

他団体との連携 共同事業の実施

県、自治体、医療関係者、
関係団体等

事業所における サポーターの養成

健康保険委員の委嘱拡大
レベル・目的別研修会

加入者目線の広報 業務の効率化

対象別広報誌の発行
サービス向上・改善委員会